

『台湾教科用書国民読本』「土語読方」部の日本語訳

中田敏夫・廖継思
(国語教室)

1 はじめに

明治三十一年七月二十七日勅令一七八号「台湾公学校令」により、台湾人に対する初等教育機関としての「公学校」の概要が定められた。公学校令第七條には、「公学校の教科用図書は台湾総督の検定を経たるものたるべし」という教科書の規定も示されている。さらに、明治三十一年八月十六日府令第七十八号「台湾公学校規則」により、主旨、編制などとともに教授要旨及び教科程度が明らかにされた。このような経緯を経、明治三十三年三月二十五日、台湾総督府民政部学務課により、台湾における最初の国語読本となる『台湾公学校読本巻一』が印刷発行された(注一)。この『台湾公学校読本巻一』はその内容を全く同じまま、『台湾教科用書国民読本巻一』として、明治三十四年に巻二から巻六までとともに出版され、巻七・八・九は同三十五年、巻十・十一・十二は同三十六年にそれぞれ出版されることになる。

ところで、この『台湾教科用書国民読本』全十二巻には、各課の本文の終わりに「土語読方」という、台湾語を片仮名で表記した内容が盛り込まれている(写真一・二参照)。これは、巻四までは毎課に、巻五・六は「応用」という内容とほぼ交互に、巻七以降は全十八課から二十課ほどのうちに五課ずつ掲載されている。

前述公学校規則第一條には公学校目的が示され、「本島人の子弟に徳教を施し実学を授け以て国民たるの性格を養成し同時に国語に精通せしむるを本旨とす」とある。外地における国語(日本語)教育の教科書に現地語を混入させることは極めて異例であり、その意味で、「国民たる性格を養成」すること、「国語に精通」することを狙う上で果たして、この「土語読方」はどのような役割を担ったと考えるべきなのだろうか(注二)。台湾における国語読本の第二期ともいえる『公学校用国民読本』(大正二年より)では姿を消し二度と登場することのない「土語読方」部について、その成立の経緯を明らかにすることは、台湾における国語

(日本語)教育の本質を考える上で、また台湾教育の全体像を考える上で重要な示唆を与えるものと思われる。

本稿では、このような問題意識に立った上で、各課に配された「土語読方」の具体的な中身を明らかにするために、まずローマ字起こし・漢字起こし・日本語訳を試みておきたい。「土語読方」の成立並びに内容上の分析検討については別稿に譲ることとする。

2 「土語読方」の表記法について

『台湾教科用書国民読本巻一』(『台湾公学校読本巻一』)の冒頭には、五十音字、鼻音字、符号字、八声符号、同用例が掲載されている(写真三・四・五参照)。

台湾語の表記法については、明治三十三年十二月十八日学務課より発行された『台湾公学校国語教授要旨』の「国民読本編纂例」第十に、「土語の仮名遣ひは、主として晨に台湾総督府民政部に於て定めたる法に従ふ」とある。既に台湾総督府学務部では、『台湾十五音及字母詳解』(明治二十九年)などを編纂し、片仮名による台湾語の表記体系の確立に向かっていた。そしてこの表記法は、本島人の国語(日本語)学習と同時に日本人の台湾語学習を目的にした『新日本語言集』(明治二十九年)、『台湾適用会話入門』(同年)などの領台当初の教科書類の編纂においても既に利用されていた。

3 本稿の構成について

本稿では、『台湾教科用書国民読本』全12巻中(注三)に掲載された「土語読方」すべてについて、原文、ローマ字起こし、漢字起こし、日本語訳の順で記している。

原文は基本的には音節毎の分かち書きで記されているが、著者あるいは彫刻者により、単語分かち書きものや、音節分かち書きのものもあり、また、その空きスペースは微妙である。そこで、本稿では音節分かち書きで統一して示すことにした。

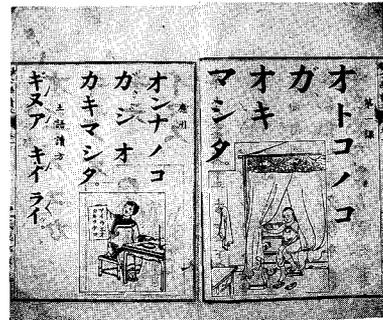
ローマ字起こしについては、台湾教会公報社『廈門音新辞典』（一九七二年二月第十一版、初版一九一三年七月）にしたがい、ローマ字並びに八声符号を記した。なお、複合語、熟語相当のものはハイフンでつないで提示することにした。

漢字起こしについては、天理大学おやさと研究所『現代閩南語辞典』（一九八一年）を参考に記した。相当する漢字が想定できない場合は、意義を考慮し適宜当てることにし、（ ）内に示した。全く想定できず、意味不明のものは（ ）のみを示した。

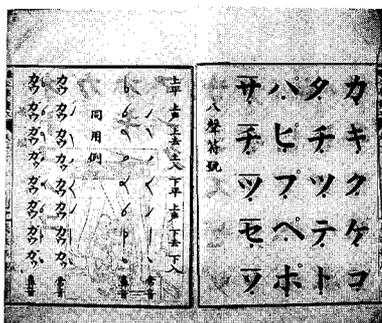
日本語訳については、直訳式を原則とした。ただし、意味が通じにくい場合など、『台湾教科用書国民読本』の本文などを参考に意訳した箇所がある。また、文意をわかりやすくするため、意味を「」内に補った箇所もある。翻訳の常であるが、日本語訳全体の問題として、台湾語と日本語の語彙・文法上のずれが限界を生んでいることがある。たとえば、巻一第一課「ギヌア キイライ」は、文脈の前後の流れで、「子供が起きる」「子供が起きた」の両様に訳せるところである。巻一第九課「我不至愛讀書、伊不愛」の一文では、「讀書」はこの場合「勉強すること」を意味し、また「伊」は「彼・彼女・あの人」のいずれの場合もありうる。執筆者の判断により適宜日本語訳を当てた。なお、文体上の問題として常体・敬体の別があるが、本稿では常体で通した。



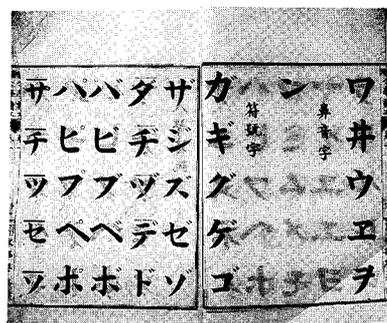
(写真二)



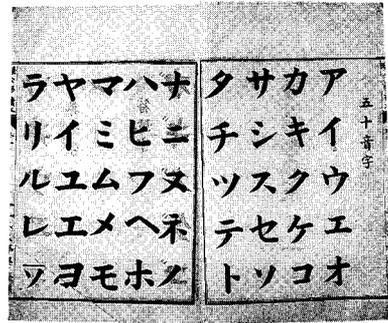
(写真一)



(写真五)



(写真四)



(写真三)

4 「土語読方」部の日本語訳

卷一

第一課

ギヌ ア キイ ライ。

Gin-a kī-lai.

団仔 起来

子供が起きる。

第二課

イイ チイ チエン オエ。

I tih chieng-ōe.

伊 (在) 穿鞋

あの人は靴をはいている。

第三課

ギヌ アン ソエ ビヌ ソエ タウ。

Gin-a sōe-bin soe-thau.

団仔 洗面 梳頭

子供が顔を洗ったり髪をといたりする。

第四課

ラウ フウ ツウ フン ツウ サイ。

Lāu-bū chū-pūg chū-chāi.

老母 煮飯 煮菜

お母さんはご飯を炊き、おかずを作る。

第五課

ゴア チア サア キイ、キイ ハッ ハウ。

Goa chiah chá-khi, kī hak-hau.

我 食 早起 去 学校

私は朝ご飯を食べる、学校へ行く。

第六課

サア キイ チッ チアム チエン クイ オオ。

Chā-kī chhiu tiām-chieng khui-ōh.

早起 七 点鐘 開学

朝は七時に学校が始まる。

第七課

シエヌ シイ コン、ハク シエン チアム チアム チア。

Sien-si kóng, hak-sieng tiām-tiām thia.

先生 講 学生 恬恬 聴

先生が話をする、学生が黙って聞く。

第八課

ハク シエン チイ ゴア カウ チッ トウ。

Hak-sieng tih gōa-khāu thit-thō.

学生 (在) 外口 娼娼

学生が外で遊んでいる。

第九課

ゴア プツ チイ アイ タク ツウ、イイ ム アイ。

Gōa put-chi ai thak-chu i m ai.

我 不至 愛 読書 伊 不愛

私は勉強が大変好きだ、あの人はそうではない。

第十課

ゴア アム シイ カア サア クヌ、ペエ フウ カア オア クヌ。

Gōa am-si khah-chā khūn, pē-bū khah-ōā khūn.

我 晩時 較早 睏 父母 較晩 睏

私は夜早く寝る、父母はおそく寝る。

卷二

第一課

チッ エ ギヌ アイアウ ベエ ソエ ビヌ。

Chit-é gín-á iáu-be sôe-din.
 這个 囡仔 猶未 洗面
 この子はまだ顔を洗っていない。

第二課

ゴア ツウ パウ ホゾ ラブ。リイ イア チオ コア キヌ パウ。
 Goá chu pau-hô Ia. Lí ia iá tsih kôa-kin pau.
 我 書 包好 了 你 也 得 趕緊 包
 私は本を包んだ。あなたも早く包め。

第三課

リイ チア ベエ。ベエ、ゴア イアウ ベエ チア。
 Lí chiah-be. Bé, goá iáu-be chiah
 你 食未 未 我 猶未 食
 あなたはごはんはすんだか。いいえ、私はまだ食べていない。

第四課

カア キヌ ライ、チツ チエン スイ エ ホラ ア ベエ ホオ リイ
 Kha-kin lai, chit-tieng sui-é bô-á beh hó tī
 較緊 来 這頂 美的 帽子 要 給 你
 戴
 早く来い、このきれいな帽子をかぶらせてやる [帽子をあげる、の意]。

第五課

チア エ キヌ ア シア シイ。チツ エ シア ホラ、チツ エ テエ
 Chia-é gín-á sia-jī. Chit-é sia-hô, chit-é teh
 這些 囡仔 写字 一个 写好 一个 (在)
 シア、チツ エ イアウ ベエ シア。
 sia, chit-é iáu-be sia.
 写 一个 猶未 写
 これらの子供が字を書く。一人は書き終えた、一人はまだ書いている、一人はま

だ書いていない。

第六課

トア ヒア テエ タツ ツウ、ゴア ベエ チアム チアム チア。
 Toā-hia' teh thak-chu, goá beh tiam-tiam chia.
 大兄 (在) 読書 我 要 恬恬 聽
 お兄さんが本を読んでいる、私は黙って聞こう。

第七課

ラウ フウ テエ キオ リイ、ゴア ベエ カブ リイ ツエ チヌ
 Lāu-bū teh kiō-tī, goá beh kap-ī chōe-tin
 老母 (在) 叫你 我 要 合你 作陣
 ライ キイ。
 lai-kiī.
 来去
 お母さんがあなたを呼んでいる、私はあなたといっしょに行こう。

第八課

シエヌ シイ チイ オオ パン ウイ アン ア。ハグ シエン チイ
 Sian-si' tī o-pang u ang-á. Hak-sieng tī
 先生 (在) 黑板 絵 厝仔 学生 (在)
 チオ ポア シア シイ。
 chioh-poá' sia-jī.
 石盤 写字
 先生が黒板で絵を描いている。学生は石盤で字を書いている。

第九課

シオ チイ ギア ビツ ホオ トア ヒア。トア ヒア カア イイ
 Sio-tī giá-pit hó toā-hia' Toā-hia' kā i
 小弟 拿筆 給 大兄 大兄 給 伊
 チイ キイ。
 chih-kiī.
 接去

弟がお兄さんに筆を渡す。お兄さんはそれを受取った。

第十課

「サア ポオ ギヌア ア ギア サウ チウ テエ サウ パンア。
 Cha-po gin-a gia sau-chiu teh sau pang-a.
 查哺 团仔 拿 掃帚 (在) 掃 房仔
 男の子がほうきを持って部屋を掃いている。」

第十一課

「チッ エ ギヌア ア テエ ヌン リアア カヌ ロク。チッ リアア イイ
 Chit-e gin-a teh nung-liap kan-lók Chit-liap i.
 这个 团仔 提 二粒 干菜 一粒 伊
 的 一粒 別人 的
 a chit-liap pat-lang a.
 この子供は独樂を二つ持っている。一つは彼のもので、一つは別な人のものだ。」

第十二課

「ゴア エ サア ラウ ブウ カア トア チイ ツエ エ。
 Go-a sa lau-bu kap toa-chi choe-e.
 我的 衫 老母 介 大姉 作的
 私の服はお母さんとお姉さんが作ったものだ。」

第十三課

「トア チア ニアウ チイ シオン エエ カア。
 Toa-chiah niau ti sióng e-kha.
 大隻 猫 (在) 上 下脚
 大きい猫は一番下にいる。」

第十四課

「ヒア エ ギヌア ア ウウ チエン オエ。チア エ ギヌア ア ボラ チイ
 Hia-e gin-a u chieng-oe. Chia-e gin-a bo la chi.
 彼の 团仔 有 穿鞋 這的 团仔 無 戴
 彼の 团仔 有 穿鞋 這的 团仔 無 戴

ボラ ア。

第十五課

「ホオ ナア ライ。ゴヌア チア コア キヌ ツン ライ キイ。
 Ho na-lai. Goan chiah koa-kin tng-lai-ki.
 雨 那来 阮 (正) 趕緊 転来去
 雨が降っている。急いで帰ろう。」

卷三

第一課

「チイ クン ラア。チエク チアウ ア テエ ハウ。ラン キイ ライ、テエ
 Ti-king lah. Chhek-chiau-a teh hau. Lang khi-lai, teh
 天光 了 雀鳥 (在) 啐 人 起来 (在)
 ツッ パン キエン ムン。
 chhut pang-kieng nang.
 出 房間 門
 夜があけた。雀が鳴いている。人が起きて部屋の門を出ている。」

第二課

「テエ クイ エ ホエ シイ ン キイ。ハム ルイ エ ホエ シイ
 Teh khui-e hoe si ag-ki. Ham-lui e hoe si
 (在) 開的 花 是 黄梔 含蕾 的 花 是
 ハム シアウ。
 ham-siau.
 含笑
 咲いている花は黄梔「くちなし」だ。蕾になっている花は含笑「花の名前」だ。」

第三課

「サア ホオ テエ へエ トア、へエ ロッ ハン ロオ ライ。ヒツ エ
 Sa-a ho-o teh he-ehoa he-lo hang-lo lai. Hit-e
 Cha-bo. thén he-thoa he-lo hang-lo lai. Hit-e

查某 提 炭炭 火炉 烘炉 来 彼此的
 シイ ベエ ヒア クヌ ツイ。
 si beh hia̍ kún-chūi.
 是 (要) 焚 滾水

女の人が炭と火鉢とこんろを持ってきた。それは水を沸すためだ。

第四課
 ナア チアム チェン、ツウ ライ ロン オエ クン。
 Na tiám-tieng, chū-lai lóng oe kng.
 (若) 点灯 厝内 龐 会 光
 灯をつけると、家の中は明るくなる。

第五課
 ゴア チア サア キイ リアウ、パウ セエ カブ チオ ボア、イア チア
 Goá chiá chā-kií liáu pau chheh kap chiōn-pōa, iá-chiá
 我 食 早起 了 包 書 介 石盤 也正
 キイ オラ ツン。
 khi o-thng.
 去 学堂
 私は朝飯を食べた、本と石盤を包んで、それから学校へ行く。

第六課
 ゴア ピア ホエ ライ ラア、タア ベエ キイ ヒア、サア カア チア。
 Goá piá̍ hōe-lai lah, ta-beh khi-hia sa-kap chiah.
 我 餅 買来 了 (今要) 去彼 相合 食
 私はお菓子を買ってきた、あそこで一緒に食べよう。

第七課
 ヒツ エ ギヌア シイ ホア エ ギヌア、チエク カッ ボア
 Hit-e gin-á si hó-e gin-á, tiék-khak bó
 彼の 团的 是 好的 团的 的確 無
 ラム サム、チツ トア。
 lam-sám thit-thó.
 彼の 团的 是 好的 团的 的確 無

濫慘 姐娼
 あの子はよい子だ、決してみだりに遊ばない。

第八課
 ヒツ エ ギヌア シア キオ、ツエ タロオ、コン オエ プツ、チイ
 Hit-e gin-á miá̍ kió chōe TARKO, kóng-ōe put-chi
 彼の 团的 名 叫 做 太郎 講話 不至
 ビエン ラン。
 Bieng-lang.
 明朗
 あの子の名前は太郎だ、話はとてまはっさりしている。

第九課
 コエ ツウ ツウ、ツイ コエ チアウ、テエ、ベエ ツツ、ライ。
 Koe-tú-tú, tui koe-tián teh-beh chhut-lai.
 鶏 () () 对 鶏寮 (正要) 出来
 ひよこが鳥小屋から出ようとしている。(tú-túは鳴き声のオノマトペか。)

第十課
 ゴア チアウ リイ、カア、ゴア、ツエ、ホン、セエ、ツエ、リアウ、ホア
 Goá chiáu li ká goá, chōe hong-che. Chōe lian hó.
 我 照 你 教 我 作 風箏 作 了 好
 ソオ、イイ、テエ、ホア、ヒイ。
 Sō-i teh hoá-hi.
 所以 (在) 歡喜
 私はあなたが私に教えた通り風を作ったらよくできた、だから喜んでる。

第十一課
 トア、ヒア、カア、ラン、テエ、ピア、シオ、チイ、キイ、チツ、トア、
 Toá-hia̍ ka lang theh-piá̍, Sió-ti khi thit-thó
 大兄 合 人 提餅 小弟 去 娼娼
 イア、ベエ、ツン、ライ、ソオ、イイ、イア、ベエ、チア、テエ
 iá-be tng-lai. Sō-i iá-be chiah, teh

猶未 転来 所以 猶未 食 (在)
 子エン ハウ。
 thiàng-hâu.
 等候
 兄さんが人からお菓子をもらった。弟が遊びに行つてまだ帰らない、だから食へないで待っている。

第十二課
 ニアウ ア キア テエ チツ トヲ サア ボオ ギヌ ア ベエ リア
 Niau-a-kiā teh thit-thó. Cha-bô-gín-a beh liāh
 猫仔子 (在) 姐姐 查某团仔 要 掠
 イイ イイ スイ シイ サウ ツイ ヒア キイ。
 伊 伊 随時 走 对 彼 去

子猫が遊んでいる。女の子がそれをつかまえて行く。それ「猫」はすぐあちらへ行った。

第十三課
 ボエ ヒアウ エ タイ チイ ナア シウ チツ チアア アン クウ、
 Boe-hiāu ē tai-chi ná siū chit-chap-a-kiū,
 没眺 的 代誌 (若) 想 一節仔久
 チウ オエ ヒアウ。
 chiū oe-hiāu.
 就 会眺
 わからないことも、しばらく考えてみるとわかるようになる。

第十四課
 チツ エ オヲ ツン エ ハク シエン、ロン ツン、シイ イオン カン、
 Chit-ē o-tāg ē hāk-sieng, lóng-chóng si iōng-kan,
 這的 学堂 的 学生 龐総 是 用工
 ソオ イイ ガウ タク、ガウ シア。
 so-ī gāu-tak gāu-siā.
 所以 賢読 賢写

この学校の学生は皆努力する、だから読むのがうまいし、書くのがうまい。

第十五課
 ニアウ テエ ベエ カア ニアウ ツウ、ニアウ ツウ サウ キイ
 Niau teh-beh kā niau-chhū, niau-chhū chāu-kiī
 猫 (正要) 咬 老鼠 老鼠 走去
 リアウ。アア、チヌ ボヲ サイ。
 liāu. Aa chin bô-chhái.
 了 啊 真 無彩
 猫が鼠を捕ろうとすると、鼠が逃げた。ああ、ほんとうに残念だ。

第十六課
 ゴア プツ ルメ キイ シア ソオ サイ、プツ コアヌ シイ、チウ
 Goā put-tun khī siā sô-chai, put-kuan-si, chiū
 我 不 論 去 甚 所在 不 管 時 就
 コア キヌ ツン ライ。
 kōa-kin tūng-lai.
 趕緊 転来
 私はどんな場所へ行っても、いつも急いで帰る。

第十七課
 ゴア チエン シヌ、ツウ ツウ テエ ベエ キイ ライ。イイ ライ
 Gōa chheng-sin, tū-tū teh-beh khī-lai. ī lai
 我 (清醒) (抵抵) (正要) 起来 伊 来
 キオ、ゴア、キイ ライ。
 kiō-gōa khī-lai.
 叫我 起来。

私は目を覚まし、ちようど起きようとするところだ。あの人が私を起こしに来る。
 卷四
 第一課
 ゴア イア タク、ツウ、イア オヲ シア シイ、イア ソア オヲ
 Goā iā thak-chu, iā o siā jī, iā soā o

我 也 讀書 也 學 寫 字 也 (順) 學
 スン ポア。
 sng-pōa.
 算盤

私は本を読み、字を習い、さらにそろばんを習う。

第二課
 チツ エ ギヌ ア テエ タヴ チアム シム パウ、プヌ シオ チイ。
 Chit-e gin-a teh thau tiám-sim-pau, pun sió-ti.
 這个 困仔 (在) 解 点心包 分 小弟
 この子供は点心「おやつ」の包みを解き、弟に分ける。

第三課
 シオ チイ ホア ヒイ テエ コン。 チヌ シム シェク、
 Sió-ti hoá-hí teh kóng. Chin-sim-siek
 小弟 歡喜 (在) 講 真心適
 チヌ シム シェク。
 chin-sim-siek.
 真心適
 弟は喜んで、おもしろい、おもしろいと言っている。

第四課
 ホアヌ ア チエン ナア シツ キイ、スイ シイ アム。
 Hoan-a-tieng na sit-ki, sai-si am.
 番仔灯 (若) 熄 去 隨時 暗
 洋ランブが消えると、すぐ暗くなる。

第五課
 シヌ クウ、ナア ボア チエン キイ オエ ホオ ラン ヒアム、
 Sin-khu ná bó chien-ki, oé hó lang hiám,
 身軀 (若) 無 清潔 会 給 人 嫌
 イエン カイ チオ ソエ ジイ。
 ieng-kai tióh soe-ji.

應該 (要) 細膩
 体が汚れていると、人に嫌われる、気をつけなければいけない。

第六課
 キイ コア パン ア、トア チエン エ バグ オオ、カア ラウ ロア、
 Kih koá pang-a, toh-tieng e bák-o ka-lah-lóh,
 去 看 房仔 卓頂 的 墨壺 加落 ()
 イイ キエン ポア ラア。
 i-kieng phá-lah.
 已經 破了
 部屋へ行ってみると、机の上の墨の瓶が落ちて、すでにこわれていた。

第七課
 コア タア テエ ウイ アン ア、ナア ホラ エ シイ ツヌ、チア
 Goá ta-teh ui ang-a, ná hó-e si-chün, chiah
 我 (正在) 画 厝仔 (若) 好的 時陣 (才)
 ホオ リイ。
 hó-í.
 給你
 私は今絵を描いている、できたらあなたにあげる。

第八課
 ギヌ ア テエ ビイ パヌ ベエ キイ オヲ ツン、タア テエ パウ
 Gin-a teh pí-pán beh-ki o-tng, ta-teh pau
 困仔 (在) 備弁 要去 学堂 (正在) 包
 「セエ カブ チオ ポア。
 cheh kap chióh-pōa.
 書 介 石盤
 子供が学校へ行く準備をしている、本と石盤を包んでいる。
 (備弁はアモイ語。)

第九課
 ソアッ プヌ パウ シイ テエ アウ ライ、ヘエ タム ポア ア

Soat-bân-phau si tè-ai-lai, hé tam-poh-á
 雪文泡 是 茶甌内 下 淡薄仔
 soat-bân íá-khi, chia-ôe pân-tit.
 雪文 溶去 (才)会 吹着
 シャボン玉は、お碗の中にシャボンを少し入れて溶かすと、吹くことができる。

第十課
 チッ エ ギヌ ア ショリ オ 一セエ カア チオ ボア。チツ エ シイ
 Chit-é gín-á sioh-jioh chheh kap chioh-pôa. Chit é sí
 这个 困仔 惜() 書 介 石盤 这个 是
 ガウ エ ギヌ ア。
 gâu é gín-á.
 賢 个 困仔
 この子供は本と石盤を大事にしている。この子供は賢い子供だ。

第十一課
 チッ ブヌ 一セエ、ソア ホラ、シイ ビエン、シイ ホラ エ 一セエ。
 Chit-pún chheh choá-hó jí-biêng, sí hó chheh.
 這本 書 紙好 字明 是好 書
 この本は紙がよくて、字がはっきりしている、よい本だ。

第十二課
 ゴア キエヌ ナア ツイ ゴア ビメ ツン ライ エ シイ、チウ カア
 Goá kiên-na tui goá-bín tng-lai é sí, chiu kā
 我 見那 对 外面 転来 的 時 就 給
 ケエ ライ エ ラン、コン。ゴア タア ツン ライ。
 ke-lai é lang kóng. Goá ta' tng-lai.
 家内 的 人 講 我 (正) 転来
 私は外から帰ると、家の人に、ただ今帰りました、と言う。

第十三課
 ニアウ ナア チヌ チウ ラン、ソエ ビメ、ソオ イイ ビヌ プツ シイ

Niau ná-chhin-chhiú' lang, sóe-bin, só-í bin put-sí
 猫 (若) 親像 人 洗面 所以 面 不時
 チエン キイ。
 chhieng-khi.
 清潔
 猫は人のように顔を洗う、だから顔がいつもきれいだ。

第十四課
 ゴア チアム シム ビイ カム ア、カム ア カア アイ。
 Goá tiám-sim pí kam-á, kam-á kha ai.
 我 点心 比 柑仔 柑仔 較 愛
 私は、点心とみかんと比べると、みかんが好きだ。

第十五課
 リイ オラ シア シイ ホラ、サア ム タシ バグ チオ バク。
 Lí o' sia-jí hó, sa' n-thang bak-tioh bak.
 你 学 写字 好 衫 不当 沾着 墨
 あなたが字を習うのはよいが、服に墨をつけてはいけない。

第十六課
 チエツ サイ、サイ、チオ ソエ チエン キイ、ヘエ チアム ニイ、
 Chiet-chhai, chhai tioh sóe chhieng-khi, hé tiam-nih,
 切菜 菜 得 洗 清潔 下 砧 ()
 イア チア イエン サイ、トラ チエツ。
 ía-chiah iêng chhai-to chhiat.
 也正 用 菜刀 切
 野菜を切るときは野菜をきれいに洗うべきである、まないたに置いてそれから包丁で切る。

第十七課
 ラン コア ナア、ツイ ヒツ ウイ ライ、ヒツ エ カア シイ、キイ
 Lang kôa' na tui hit-úí lai. Hit-é ká-sí khi
 人 搶籃 对 彼位 来 彼の 敢是 去

チイ 子ウ ツン ライ エ。

chhi-tiā' tng-lai e. 市場 転来 的

人が籠をさげて向うから来る。あの人はたぶん市場から帰るところだ。

卷五

第二課

チア グウ ナア チヌ チウ ツイ グウ エ コアヌ、ム クウ

Chiah-gū nā-chhin-chhiū' chū-gū e khoān, m-kū

赤牛 (若) 親像 水牛 的 款 不過

シエン クウ ピイ ツイ グウ カア ソエ カグ イア カア ソエ。

sieng-khu pi chui-gū khah-sōe kak ia khah-sōe.

身軀 比 水牛 較小 角 也 較小

赤牛は水牛の様に似ている。ただし体は水牛に較べ小さくて角も小さい。

第五課

ラン ナア ソエ バイ タイ チイ、カウ ベエ チエツ カグ オエ

Lang nā chōe paí-tai-chi, kau-bé tiek-khak oe

人 (若) 作 歹代誌 到尾 的 確 的 會

カヌ コオ。

kan-khō.

艱苦

人は悪いことをすると、最後にはきつと苦しむことになる。

第七課

ギヌ ア ム タン ベエ コアイ ペエ ケエ、ム ツウ ホラ カア

Gīn-á m-thang beh-koān beh-keh, m-tū-hō kā'

困仔 不当 爬高 爬低 不抵好 敢

オエ ポア ロラ ライ。

oe poah-lōh-lai.

會 跌落来

子供は高いところへ上ったり下りたりしてはいけない、まかりまちがうと落ちてくる。(原文ベエコアイはコアヌの誤りか。あるいはアモイ音か。)

第八課

プツ ルヌ シア ラン、ナア シウ タム シム、リエヌ カア キイ

Put-tūn siá' lang, nā siū' tham-sim liēn ka-ki

不論 甚人 (若) 想 貪心 連 自己

エ ミイ トオ オエ パエ ム キイ。

e mih to ē phah-n-ki.

的 物 都 會 (丟) 無去

どんな人でも欲ばると、自分のものさえもなくしてしまう。

第十一課

ギヌ ア カア キイ ナア オエ ヒアウ エ タイ チイ、イエン カイ

Gīn-á ka-ki nā oē-hiāu e tai-chi, iēng-kai

困仔 自己 (若) 會晚 的 代誌 應該

チオ カア ペエ フウ タウ サア カン ツエ カン ケエ。

tioh ka pé-bū tau-sa' kang chōe kang-keh.

得 給 父母 門相共 作 工課

子供は自分でできることは、父母の手伝いをして仕事をすべきだ。

第十四課

プツ ルヌ シム シイ タイ チイ ナア ボラ シヌ チヌ、チウ ボエ

Put-tūn sim-mih tai-chi nā bó jin-chin, chiu bōe

不論 甚麼 代誌 (若) 無 認真 就 未

オエ シエツ チウ。

o siék-chhiá.

学 熟手

どんなことでも、まじめでなければ熟練できない。

第十六課

ペエ ブウ カア シエヌ シイ カア ゴア コン、チツ ホラ タイ チイ

Pē-bū kap sien-si' kā goá kóng, chit-hō tai-chi

父母 介 先生 給 我 講 這号 代誌

ム タン ツエ、ゴア チエツ カグ ム カア ツエ。

m-thang chōe, góa tiek-khak m-kā' chōe.

不当 作 我 的 確 不 敢 作
 父母と先生がこのことをしてはいけないと言ったら、私はきつとしない。

卷六

第一課

ジッ チオ ボラ ホラ セエ、イア ボラ タシ ホン、キアム ラア サ
 Jit-chio bô hó-sè, iá-bô thang-hong, kiam lah-sap
 日照 無 好勢 也無 通風 兼 拉坡
 ツウ、トア エラン、タウ、タウ、オエ、ポア、ピイ。

chhū, toā e lang, tauh-tauh oe pōa-pī.
 厝 住 的 人 (常常) 会 破病

日当りが悪く、風通しが無い、その上家がきたないと、住む人はいつも病気になる。

第四課

チア テエ イオン エ キイ クウ、ナア バグ チオ ラア サム、
 Chiah teh ióng e khi-khu, ná bak-tiōh ia-sam,
 食 (在) 用 的 器具 (若) 沾着 拉慘
 チア ロア、バグ、トオ、トエ、オエ、ポア、ピイ。

chiah-iōh pak-tō-tōe oe pōa-pī.
 食落 腹肚底 会 破病

食事に使っている器具が汚れていると、腹の中に入った後「食べた後のこと」、病気になる。

第六課

カヌ タア シウ コオ ツウ キイ ホラ エ ラン、シイ パイ ラン、
 Kan-ta siū kò chu-ki hó e lang, si pái-lang,
 干乾 想 顧 自己 好 的 人 是 呆人
 ソオ、イイ、オエ、ホオ、ラン、オアヌ、フヌ。

só-i oe hó lang oan-hun.
 所以 会 給 人 怨恨
 自分のことしか考えない人は悪い人だ、だから人に恨まれる。

第八課

ラヌ、ジッ、ブヌ、エ、テンノオヘイカ、チア、ペエ、シイ、ペエ、シイ
 Lán Jit-pún e TENNOHEIKA tiā peh-sī peh-sī
 咱 日本 的 天皇陛下 疼 百姓 百姓
 イア、チヌ、チオン。
 iá chin-tiong.
 也 尽忠

わが日本の天皇陛下は人民をかわいがる、人民も忠義を尽くす。

第十課

キイ、カア、フン、エ、ソオ、サイ、チツ、トラ、オエ、コテ、キイ
 Kí kah hng-e só-chai thik-thò, oe Khôa-khi
 去 較 遠的 所在 娼娼 会 看見
 ハヌ、チツ、コア、エ、ミイ、シエン、クウ、イア、オエ、カア、イオン。
 han-tik-kôa e nih, sieng-khu iá oe kah-ióng.
 罕得看 的 物 身軀 也 会 較勇

遠いところへ遊びに行くと、珍らしいものが見られる、体も丈夫になる。

第十二課

イアム、シイ、イオン、ハイ、ツイ、バグ、エ、シエク、チイ、ペエ、
 Iám si ióng hai-chú phak-e, siek-ti peh,
 塩 是 用 海水 曝的 色致 白
 ビイ、ソオ、キアム。
 bi-so kiám.
 味素 碱

塩は海水を干したものだ、色は白く味はからい。

第十四課

コテ、キイ、ラン、ロラ、ラヌ、スイ、シイ、キウ、イイ、ラン、オラ、ロラ
 Khoá-kí^o lang loh-lan, sai-si kiu-i, lang o-ló
 看見 人 落難 隨時 救伊 人 (讚美)
 イイ、シイ、ホラ、シム、エ、ラン。
 i si hó-sim e lang.

伊 是 好心 的人
困っている人を見てすぐ助ける、人はあの人をいい人だとほめる。

第十五課

ラヌ ピイ ピイ シイ ジッ プヌ ラン、ソオ イイ ワ、エ チア ゲ、エ、
Lán pí-pí sī Jit-pún-làng, só-tī chhe chia-gêh
咱 平平 是 日本人 所以 作 正月
イエン カイ チ、オ カア プヌ コグ ラン、シアン シイ ワ、エ。
iêng-kai tloh kap pún-kok-làng siang-sī chhe.
應該 得 介 本国人 相時 作
私たちは同じく日本人だ、だから正月は本国人と同時にするべきだ。

第十七課

ラン、コン、ホラ シム エ ラン、ウウ シヌ ヒエン テ、エ ポラ、ピイ。
Làng kóng, hō-sim ē lang ũ sht-bheng teh pō-pi.
人 講 好心 的人 有 神明 (在) 保証
人は、心のやさしい人は神様が加護しているという。

卷七

第二課

クスノキマサシゲ シイ チヌ チオン エ ラン、ソオ イイ
KUSUNOKI MASASHIGE sī chn-tiong ē lang, só-tī
楠木正成 是 尽忠 的人 所以
カウ、タア イア ホオ ラン、テ、エ キエン、チオン。
káu-ta' ia hō lang teh kiêng-tiong.
到今 也 給 人 (在) 敬重
楠木正成は忠義を尽くす人だ、だから今に至るまで人から尊敬されている。

第六課

サイ、プヌ コグ、エ、チウ、ア、シイ シウ、チツ、タン、サア、シイ、ゲ、エ
Chai pún-kok ē tū-á sī siu chit-tang, sa' sī gēh
在 本国 的 稻仔 是 收 一冬 三 四 月
ロ、ラ、チエン、チイ、カウ、チア、サア、ゲ、エ、チア、シウ、シエン。

lōn chiêng-chí, káu chia' chap-gēh chia siu-siêng.
落 種籽 到 (約) 十月 才 收成
本国の稲は一期作だ、三、四月に種をまいて十月頃になって収穫する。

第十課

テ、エ、ピイ、シア、ブ、イア、ウウ、パン、チア、リアウ、シム、コア、オ、エ
Te bi siap, iá-ŭ phang, chiah liáu sim-koa' o
茶 味 淡 也有 香 食 了 心肝 会
ソ、ン、コ、ア、イ、
sōng-khoai.
爽快
茶の味は淡いが、香がよい、飲んだあと心身が爽快になる。

第十三課

タイ、パツ、カウ、タイ、ラム、タイ、カイ、ウウ、シイ、サア、ポ、エ、
T'ai-pak káu T'ai-lam t'ai-khai ũ sht-chap-poeh phò,
台北 到 台南 大概 有 四十八 舖
ヘ、エ、チア、ロ、オ、ナア、ソ、シ、ホ、ブ、サア、ブツ、トラ、サア
hé-chhia-tō nā chhōng-hó, cha-put-to chap
火車路 (若) 作好 差不多 十
チアム、チエン、チウ、オ、エ、チツ、カウ。
tám-chieng chiu e-tit káu.
点鐘 就 会得 到
台北から台南まで大体四十八舗だ、鐵路ができたなら約十時間で着く。

第十八課

シエン、クウ、プツ、シイ、シイ、シエヌ、ナア、ピヌ、トア、ソ、エ、
Sieng-khu put-sf sī' sien, nā pín-toa' soe,
身軀 不時 生 (垢) 若 憑情 洗
カウ、ヘ、エ、オ、エ、ポ、ア、ピイ、ソ、オ、イイ、チ、オ、チエン、キイ、シウ
káu-bé ē pūa-pi', só-tī tloh chhieng-ki' siu'
到尾 会 破病 所以 得 清潔相
カ、ア、イ、ア、ウ、キヌ。

Khah iau-kin.

較 要緊

身体はいつも垢が出ている、洗うのを怠けると最後には病気になる、だからきれいにするのが大切だ。

卷八

第四課

シエン リイ ラン ナア ボラ ラウ シツ、ラン チウ ム
 Sieng-ji-lang na bo lau-sit, lang chiu m
 生意人 (若) 無 老實 人 就 不
 シオン シヌ、ラン ナア ム シオン シヌ、シエン リイ チウ ボエ
 siong-sin, lang na m siong-sin, sieng-ji chiu bo
 相信 人 (若) 不 相信 生意 就 無
 ラウ シュツ。
 lau-jiet.
 鬧熱

商売人は正直でない人と人が信用しない、人が信用しないと商売が繁昌しない。

第八課

ケエ チア、リイ クヌ シツ ア ベエ キイ アヌ コグ コア
 Khe-chia, li kun-jit-a beh khi pun-kok koa
 啓者 你 近日仔 (要) 去 本国 親 觀
 コン キエン、ナア キイ カウ トオキョオ、ヒツ ソノ サイ エ
 kong-kieng, na khi-kau TOKYO, hit so-chai e
 光景 (若) 去到 東京 彼 所在 的
 コン キエン エ シオン、カア コア ボエ シイ サア サア チウ
 kong-kieng e siong ka goa boe ji-sa'-chap tu
 光景 的 相 給 我 買 一三十 張
 トラ ライ、パイ トツ。
 to-lai, pai-tok.
 回来 拜託

拝啓 あなたは近日中に本国へ観光に行く、東京に着いたら、あそこの風景の写真を一、三十枚私に買って帰ってくれ。お願いだ。

第十二課

ソア サヌ シイ チヌ イアウ キヌ エ タイ チイ、ラン ナア
 Choh-chhan si chin iau-kin e tai-chi, lang na
 作田 是 真 要緊 的 代誌 人 (若)
 ツツ シイ チイ ソア サヌ ラン エ ツウ ム アイ ソア サヌ
 chhut-si tin choh-chhan-lang e chhu, m-ai choh-chhan
 出世 (在) 作田 的 厝 不愛 作田
 チヌ ム チオ。
 chin m-tioh.
 真 不対
 田の仕事は大事なことだ、人が田の仕事の家「農家のこと」に生まれて、田の仕事をやがるのはとてもまちがっている。

第十六課

チア アア ピエヌ フヌ エ ラン、サヌ フン ツウ、テエ ボオ キア、
 Chiah a-pien-hun e lang, chhan-hng chh-tshen bo-kiā,
 食 阿片煙 的 人 田園 厝宅 菓子
 ロン オエ ツイ、チエク コン カン シア キイ。
 long oe tai tiek-kong-khang jip-khi.
 総 会 对 竹管孔 入去
 阿片を吸う人は、田畑、家屋敷、妻子、すべて竹筒「阿片用させるのこと」の中に吸い込んでしまう「失ってしまうこと」の警え。

第十八課

コン ツウ コン バツ コン、ゴア ム シイ シイ ツツ シイ チウ
 Khon-chu-kong bat kong, goa m-si si' chut-si chiu
 孔子公 (管) 講 我 不 是 生 出 世 就
 バツ トラ リイ、カヌ タア チヌ シム カン、キウ、ナア チア。
 bat to-li, kan-ta' chin-sim kang-kin na-tian.
 (知) 道理 干乾 尽心 講求 (世)
 孔子様はかつて言った、私は生れたときから道理が分っていたのではない、懸命に研究しただけだ。

卷九

第三課

ラヌ エ コク タイ タイ エ テンノオヘイカ、キエク ガウ チア
 Lán ê kok t'ai-tai ê TENNOHEIKA kiek-gau thian
 咱 的 国 代 代 的 天皇陛下 極賢 疼
 ペエ シイ、ソオ イイ タア ペエ シイ ナア ホブ ギア、コク イア
 peh-si, sói tá peh-si na hó-giah kok ia
 百姓 所以 今 百姓 (若) 好額 国 也
 ナア キオン。
 na kióng.

愈 強
 わが国の代々の天皇陛下はとてもよく人民をかわいがる、だから人民が富み国が
 強くなる。

第七課

タウ ロオ ナア ボブ シヌ チヌ、ホブ ギア イア オエ
 Tau-lo na bó jin-chin hó-giah ia oe
 頭路 (若) 無 認真 好額 也 会
 ソン、ヒオン、ナア シヌ チヌ、ソン、ヒオン イア オエ ホブ ギア。
 sòng-hiong, na jin-chin sòng-hiong ia oe hó-giah.
 (散窮) 認真 (散窮) 也 会 好額
 仕事にまじめでなければ金持ちも貧乏になる、まじめにやれば、貧乏人も金持ち
 になる

第十一課

タイ ケエ ナア キイ プヌ コク、コア タク、ハン エ コン キエン、
 Tai-ke na khi pùn-kok, khòat-ták-hāng ê kong-kiēng,
 大家 (若) 去 本国 看 逐項 的 光景
 シム コア チウ オエ トン キアウ、ナア ペエ ソン、 シア、
 sim-koa' chiu oe thong-khiáu, na beh chhōng siá-hê,
 心肝 就 会 通巧 若 要 作 什貨
 ロン カア オエ チエン コン。
 lóng khah-oe chieng-kong.

総 較 会 精 工

みんなが本国へ行きいろいろの光景を見ると、心が広がることになる、何をやっ
 てもすべてうまくなる。

第十五課

ナア アイ ホオ シエン クウ イオン キア、ウヌ トン ビイ チア
 Na ai hó sieng-khu ióng-kiā, un-tōng pi chiah
 (若) 愛 給 身軀 勇健 運動 比 食
 ホブ チア ミイ、カア イアウ キヌ。
 hó-chiah-mih khah iau-kin.
 好食物 較 要緊
 体を丈夫にするには、運動のほうがうまいものを食べるより大切だ。

第十九課

ラヌ チオ、チヌ、チオン テンノオヘイカ、イア、チオ、ウウ、ハウ
 Lán tiōh chin-tiong TENNOHEIKA ia tiōh p-hau
 咱 得 尽忠 天皇陛下 也 得 有孝
 ペエ、フウ、チツ、ヌン、ハン、ペエ、シイ、チツ、ジツ、イア、ム、タン
 pé-fu, chit nng-hang peh-si chit-jit ia p-thang
 父母 這 二項 百姓 一日 也 不
 ボエ、キイ、チツ。
 bōe-ki tik.
 忘記 的
 われわれは天皇陛下に忠義をつくし、父母にも孝行しなければいけない、この二
 つのことは人民は一日も忘れてはいけない。

第四課

ビツ、パン シイ、チヌ、クツ、ラツ、コア、ウウ、チアウ、クイ、クウ、
 Bit-phang si chin kut-tat koh-ü chiau-kui-kū,
 蜜蜂 是 真 骨力 更有 照規矩
 「セエ、ウウ、ラン、イア、オエ、ム、タツ、チオ、イイ。
 che u-lang ia oe m-tat tiōh i.

這 有人 也 会 不值 得 伊
 蜜蜂はよく働くうえに規律正しい、この点かれらに及ばない人もいる。

第八課

シ^シオ^オ コ^コア^ア エ^エ ミ^ミイ^イ ナ^ナア^ア チ^チエ^エク^ク ク^クウ^ウ チ^チヌ^ヌ キ^キア^ア ラ^ラン^ン、
 Sió-khoá e mih ná chiek-kú chin kia-lang,
 少許 的 物 (若) 積久 真 驚人
 アヌ ニ^ニイ^イ シ^シイ^イ、チ^チツ^ツ ホ^ホヲ^ヲ チ^チツ^ツ リ^リイ^イ イ^イア^ア ム^ム タ^タシ^シ ラ^ラム^ム サ^サム^ム
 an-ni-si, chit-hô chit-ih ia n-thang lam-sám
 (安眠生) 一毫 一厘 也 不当 濫慘
 イ^イエン^ン。
 用 ieng.

少しのものでも積れば驚くほどの量になる、だから一厘、一毫もむだに使っては
 いけない。

第十二課

ラ^ラン^ン ム^ム タ^タシ^シ ナ^ナア^ア チ^チア^アム^ム カ^カシ^シク^クウ^ウ、チ^チオ^オ ツ^ツジ^ジ ゴ^ゴア^ア コ^コア^ア
 Láng m-thang ná tiam kang-ku, tloh chhut-góa kôa'
 人 不当 (那) 站 空居 得 出外 観
 コ^コン^ン キ^キエン^ン、シ^シム^ム コ^コア^ア チ^チア^ア オ^オエ^エ ク^クイ^イ コ^コア^ア。
 kong-kieng, sim-koa' chiah ôe khui-khoah.
 光景 心肝 オ 会 開潤

人は家のなかにはかり閉じこもってはいけない、外へ出て様子を見ると心も
 広がる。

第十六課

ケ^ケエ^エ チ^チア^ア、ボ^ボオ^オ ボ^ボオ^オ ベ^ベエ^エ チ^チイ^イ シ^シオ^オン^ン ツ^ツシ^シ ゴ^ゴオ^オ パ^パア^ア ク^クヌ^ヌ、シ^シイ^イ
 Khe-chiah, hó-bô beh tih sióng-thng gô-pah kun, si
 啓者 某某 要 得 上糖 五百 斤 是
 ゴ^ゴア^ア カ^カア^ア イ^イイ^イ パ^パウ^ウ パ^パヌ^ヌ、ム^ム ク^クウ^ウ ゴ^ゴア^ア カ^カア^ア キ^キイ^イ ボ^ボヲ^ヲ ピ^ピエ^エヌ^ヌ、
 góa ka i pau-pán, n-kú góa ka-ki hó-pián,
 我 給 伊 包辦 不過 我 自己 無便

チ^チア^ア リ^リイ^イ カ^カア^ア ゴ^ゴア^ア ト^トエ^エ パ^パヌ^ヌ、ケ^ケエ^エ チ^チイ^イ チ^チツ^ツ パ^パア^ア ク^クヌ
 chhia' i ka góa thôe-pán, kē-chi' chit pah-kun
 請 你 給 我 替辦 價錢 一 百斤
 イ^イオ^オク^ク リ^リホ^ホク^ク サ^サブ^ブ ジ^ジイ^イ コ^コオ^オ、フ^フイ^イ シ^シヌ^ヌ、フ^フイ^イ シ^シヌ^ヌ。
 iok-liok ri-hok sab-ji-kho, hai-sín, hai-sín.
 約略 十二塊 費神 費神
 拜啓 ○○さんが上等の砂糖五〇〇斤必要だ、私がそれを引き受けた、私自身に
 は都合がつかない、私の代りにあなたがやってくれ。値段は一〇〇斤当りおよそ
 一二元だ。よろしくよろしく。

第十九課

ペ^ペエ^エ シ^シイ^イ、ナ^ナア^ア ロ^ロン^ン ジ^ジヌ^ヌ チ^チヌ^ヌ ツ^ツシ^シ タ^タウ^ウ ロ^ロオ^オ、コ^コク^ク チ^チウ^ウ オ^オエ^エ
 Peh-si, ná lóng jim-chin chhông thau-ló, kok chiu ôe
 百姓 (若) 総 認真 作 頭路 国 就 会
 チ^チア^アム^ム チ^チア^アム^ム ナ^ナア^ア ホ^ホヲ^ヲ キ^キア^ア、ア^アヌ^ヌ ニ^ニイ^イ、ペ^ペエ^エ シ^シイ^イ イ^イア^ア チ^チウ^ウ
 chiam-chiam ná hó-giáh, an-ni, peh-si' ia chiu
 漸漸 (愈) 好額 安眠 百姓 也 就
 オ^オエ^エ ク^クイ^イ オ^オア^ア。
 ôe khui'-oah.
 会 快活

人民がみなまじめに仕事をすれば、国はだんだん富む、そうすれば人民も楽にな
 る。

卷十一

第三課

ニ^ニッ^ッポ^ポン^ンコ^コク^ク、ヌ^ヌン^ン チ^チエン^ン ゴ^ゴオ^オ パ^パア^ア ニ^ニイ^イ イ^イイ^イ ラ^ライ^イ、
 Nipponkok, nng-chieng gô-pah nī t-lai,
 日本国 二千 年 以来
 パ^パヌ^ヌ セ^セエ^エ イ^イツ^ツ、エ^エ テ^テン^ンノ^ノオ^オ、セ^セエ^エ チ^チイ^イ ウ^ウイ^イ、シ^シオ^オン^ン ハ^ハア^ア
 pan-se-it-he e TENNO chē thi'-ui, sióng-hā
 万世一系 的 天皇 座 天位 上下
 ホ^ホブ^ブ ホ^ホク^ク、コ^コク^ク カ^カア^ア ナ^ナア^ア チ^チオ^オン^ン シ^シエン^ン。
 hô-bok, kok-ka na thiong-sieng.

和陸 (国家(愈) 趁盛)
 日本国は二五〇〇年来万世一系の天皇が在位する、上下仲よくし、国家はますます栄える。

第八課

クウ チオ、ピイ、ボ、ベ、
 Ku chhiò pih bô-bé.
 亀 笑 龜 無尾
 亀がすっぽんは尾がないと笑う。
 ア、ア、ブ、ツ、ン キム シヌ、イ、ア、シ、イ、ピ、イ、ツ、イ。
 Ah-bú chng kim-sin iá si pī-chhiú.
 鴨母 裝 金身 也 是 扁嘴
 あひるは、全身金で飾っても、くちばしは平べったい。
 サ、ア、ジ、ツ、ボ、ヲ、リ、ウ、オ、エ、サ、ウ、チ、ウ、チ、ウ。
 Sa-jit bô liú, oe chháu chhiú-chhiú.
 三日 無 鱸 会 草 上樹
 三日復習しないと、草も木の上まで伸びる。

第十二課

ニッポン ペ、エ、シ、イ、ツ、エ、ラン、チ、オン、ホ、オ、カ、ア、ク、ツ、ラ、ツ、
 Nippon peh-sī chhōe-lang tiong-hō kah kut-lai,
 日本 百姓 作人 忠厚 合 骨力
 ソ、オ、イ、イ、コ、ツ、チ、ア、ム、チ、ア、ム、ナ、ア、ホ、ヲ、ギ、ア、イ、ア、ウ、ウ、ウ、
 só-i kok chhiam-chhiam na hó-giah. lau-ū
 所以 国 漸漸 愈 好額 這有
 イ、エン、ヒ、オン、エ、キ、イ、カ、イ、ソ、オ、イ、イ、ツ、ウ、コ、オ、イ、イ、ラ、イ、ツ、イ、
 ieng-hiang e khi-khai, só-i chū-kó t-lai
 英雄 的 氣概 所以 自古 以来 対
 ゴ、ア、コ、ツ、ラン、ム、バ、ツ、チ、ツ、ハ、イ、シ、ツ、テ、エ、ビ、エ、ヌ。
 gōa-kok-lang m-bat chit-pai sit thé-bîn.
 外国人 未會 一回 失 体面
 日本の人民は、実直で勤勉である、だから国がだんだん富んでくる、その上、英雄の気概がある、だから昔から外国人に対して一度も面目を失ったことがない。

第十六課

アイ、ベ、エ、ツ、ン、ホ、ヲ、ミ、イ、イ、エン、カ、イ、チ、オ、ホ、ヲ、キ、イ、ク、ウ、
 Ai beh chhōng hó-mih, ieng-kai tion hó khi-ku,
 愛 要 (創) 好物 應該 得 好 器具
 イ、ア、チ、オ、ホ、ヲ、サイ、フ、ウ、ヘ、エ、ア、ヌ、ニ、イ、ラ、ン、ナ、ア、ベ、エ、ツ、エ、
 ia tion hó sai-hu, heh an-ni lang ná beh chhōe
 也 得 好 師伝 彼 安呢 人 若 要 作
 ホ、ヲ、サイ、フ、ウ、ベ、エ、イ、エン、ホ、ヲ、キ、イ、ク、ウ、イ、エン、カ、イ、チ、オ、
 hó-sai-hū beh ieng hó-khi-ku ieng-kai
 好師伝 要 用 好器具 應該
 シ、エン、オ、ヲ、ハ、ク、ブ、ヌ。
 sien o hak-būn.
 先 学 学問
 良い物を作ろうと思つたら、よい器具が要る、その上よい職人も要る、そのためには、人がよい職人にならうとか、よい道具を使おうとかであれば、まず学問を習わなければならない。

第二十課

チ、エン、フ、ウ、ウ、イ、コ、ツ、カ、ア、ポ、ヲ、ホ、オ、ベ、エ、シ、イ、ソ、オ、イ、イ、
 Chhēng-hū, ū kok-ka pó-hō peh-sī, só-i
 政府 為 国家 保護 百姓 所以
 ペ、エ、シ、イ、チ、オ、テ、エ、チ、ア、ア、チ、エン、フ、ウ、エ、イ、イ、ス、ウ、
 peh-sī tion thé-thiap chhēng-hū e tsū chhōe
 百姓 得 体贴 政府 的 意思 作
 タ、ウ、ロ、オ、ケ、エ、ラ、イ、チ、ア、オ、エ、ヒ、エン、オン、コ、ツ、カ、ア、イ、ア、オ、エ、
 thau-tō, ke-lai chhian oe hieng-ōng, kok-ka ia oe
 頭路 家内 才 会 興旺 国家 也 会
 チ、オン、シ、エン。
 chhiong-sieng.
 昌益
 政府は国家のために人民を保護する、だから人民は政府の意思を理解して仕事をすれば、家内が栄えるようになる、国家も隆盛になる。

卷十二

第四課

ラン、ム、タン、カヌ、タア、シウ、ヒエヌ、シイ、エ、タイ、チイ、
 Lang m-thang kan-taⁿ siuⁿ hien-siⁿ e tai-chi,
 人 不当 干当 想 現時 的 代誌
 イエン、カイ、チ、オ、チ、アウ、コ、コ、キム、エ、ラン、ソ、エ、
 ieng-kaiⁿ tionⁿ chiau-kò^a kò-kimⁿ e lang sóⁿ chòeⁿ e,
 應該 得 照看 古今 的 人所 作的
 チ、ライ、シウ、ホ、エ、ホ、ア、ツ、ト、オ。
 Chiaⁿ laiⁿ siuⁿ hóⁿ e hoat-tò.
 才 来 想 好 的 法度
 人はただ現在のことはかり考えてはいけない、古今の人のやったこともよく見て、
 よい方法を考えるべきである。

第八課

シオ、タイ、シイ、ウイ、チ、オ、テンノオヘイカ、エ、ビエン、リエン、ベ、
 Sio-thaiⁿ siⁿ ut-tiohⁿ TENNOHEIKA e bien-lieng,ⁿ behⁿ
 相創 是 為着 天皇陛下 的 命令 要
 シウ、コ、カ、ア、ホ、ホ、ベ、エ、シイ、キ、エ、イ、ヌ、ト、
 siuⁿ kok-ka,ⁿ pó-hòⁿ beh-siⁿ khíⁿ e in-toaⁿ.
 守 国家 保護 百姓 起的 因端
 戦争は、天皇陛下の命令により、国家を守り、人民を保護するために起きるもの
 である。

第十二課

ヒエヌ、シイ、チエヌ、ハ、バ、ヌ、ハン、エ、タイ、チイ、ロン、シイ、チ、オ、
 Hien-siⁿ tien-haⁿ ban-hangⁿ e tai-chiⁿ longⁿ siⁿ tìohⁿ
 現時 天下 万項 的 代誌 總 是 得
 チ、イ、シ、エ、ク、ラン、ナ、ア、アイ、ベ、エ、ウ、ウ、チ、イ、シ、エ、ク、キ、オ、ク、ホ、
 tì-siek,ⁿ langⁿ náⁿ aiⁿ behⁿ uⁿ tì-siek,ⁿ khioⁿ bóⁿ
 知識 人 若 愛 要 有 知識 却 無
 パ、ハン、ホ、ア、ツ、ト、オ、ナ、ア、ウ、ウ、チ、ツ、ハン、ハ、ブ、ヌ、タン、オ、
 pat-hangⁿ hoat-tò,ⁿ náⁿ uⁿ chit-hangⁿ hák-búnⁿ thang-oⁿ

別項 法度 只 有 一項 學問 當學

ナ、ニア、

(而已)

現在、天下のすべてのものは知識を要する、人が知識を得る方法はほかには
 ない、ただ學問を学ぶのみだ。

第十六課

ツ、ツ、ジ、エ、チ、イ、グ、ヌ、ム、イ、ジ、キ、イ、ロ、シ、ア、ウ、ポ、オ、カ、ウ、
 Chhut-tipⁿ e chiⁿ-gan,ⁿ mui-jitⁿ kí-tòhⁿ siáu-pò,ⁿ kauⁿ
 出入 的 錢銀 毎日 記落 帳簿 到
 ゲ、エ、ベ、エ、イ、ア、シ、イ、カ、ウ、ニ、イ、タ、ウ、エ、シ、イ、サ、ア、キ、イ、ラ、イ、
 gē-béⁿ iá-siⁿ kàuⁿ níⁿ tauⁿ e siⁿ chaⁿ kí-taiⁿ
 月末 也是 到 年 到 的 時 查 起来
 チ、ウ、オ、エ、イ、エン、カ、ア、リ、ア、ム、シ、エン、チ、ツ。
 chiuⁿ oēⁿ iengⁿ khan liám-siengⁿ tit.
 就 會 用 較 (節省) 的
 金錢の出入を毎日帳簿に記入する、月末または年の終りになって調べる手間が省
 ける。

第二十課

ラ、ヌ、イ、エン、カイ、チ、オ、サ、イ、ラ、ヌ、キ、ヌ、ア、ジ、ツ、ツ、シ、イ、チ、ツ、
 Lanⁿ ieng-kaiⁿ tìohⁿ chai,ⁿ lanⁿ kin-á-jitⁿ chhut-siⁿ tit.
 咱 應該 得 知 咱 今仔日 出世 (在)
 ニッポン、コ、ウ、ウ、タン、ヒ、オン、ホ、グ、ケ、エ、ジ、ツ、カイ、ロン、シ、イ、
 NIPPON kok,ⁿ uⁿ-thangⁿ hiong-hokⁿ kè-jit,ⁿ kaiⁿ long-siⁿ
 日本國 有 當 享福 過日 該 繪是
 テンノオヘイカ、エ、ウ、ヌ、チ、エ、ク。
 TENNOHEIKA e un-tiek.
 天皇陛下 的 恩徳
 私たちは、今日日本國に生まれて幸せに生活できるのはすべて天皇陛下の恩徳で
 あることをしらなければならぬ。

(注一) 『台湾適用国語読本初歩』(明治二十九年台湾総督府民政局学務部編纂)

をその嚆矢とする考え方もあろう。

(注二) 『台湾公学校国語教授要旨』「国民読本編纂例」第四には「土語読方」を置いた理由が明示されている。

是れ一は五十音図の運用を示して、国字の至便にして貴ぶべき所以を知らしめ以て文化普及の一助となし、一は其の土語の意を国語もて口語せしめて、国語を練修せしむると同時に、其の熟否を試みるにあり。

(注三) 本稿で用いたテキストについて記しておく。

巻一は明治三十三年三月(『台湾公学読本一』)、巻二・九は明治三十五年三月(『台湾教科用書国民読本』、以下同じ)、巻三・四は明治三十四年三月、巻五は明治四十二年九月、巻六は明治三十四年一〇月、巻七は明治三十九年八月、巻八は明治三十九年四月、巻一〇・十一・十二は明治三十六年三月発行のものによる。巻一・二・六・七・八は洪聰益氏所有、その他は国立台北師範学院所蔵のものによった。

付記

本稿の分担については、中田が全体のまとめにあたり、廖がローマ字起こし・漢字起こし並びに日本語訳にあたった。なお、日本語訳等の正確を期すために、現在愛知教育大学修士課程在学中で国立政治大学出身の陳怡真氏にも確認をいただいた。陳氏には記して感謝申し上げます。

(平成一〇年九月一日受理)

〈補記〉脱稿後、酒井恵美子氏「『台湾教科用書国民読本』の編纂と公学校教科用図書審査会」(中京大学社会科学研究所ほか編『台湾総督府文書目録第五卷』ゆまに書房一九九八年十二月)が公刊された。これによれば「土語読方」部について、先づ日本語での原文が作成されそれを台湾語に翻訳して教科書に掲載した可能性がある。『台湾総督府文書』の調査分析が必要なところである。